

委託事業実施内容報告書

平成23年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

【日本語教室の設置運営】

受託団体名 財団法人静岡県国際交流協会

1. 事業の趣旨・目的

小学校に入学する子どもたちが、日本の小学校生活に馴染めるよう、また、授業についていけるよう日本語や学校生活やルールを学ぶ。また、親も学校のしくみやルールを理解してもらおう。

2. 運営委員会の開催について

【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
11月4日	湖西市役所	藤井 敬之 杉浦 徹衛 秋山美智子 小林園子 加山勤子	小学校へ入学するためのプレスクール日本語教室について	小学生のための日本語教室に向けて、顔合わせ、教室の内容、教材の確認等
2月23日	湖西市国際交流協会	鈴木一則 秋山美智子 ファウリニキ 小林園子 加山勤子	小学校へ入学するためのプレスクール日本語教室について	教室の内容について、子どもたちの様子や勉強内容について、見直しや評価を行った。

3. 日本語教室の開催について

- (1) 講座名 「小学校入学のためのプレスクール」
- (2) 開催場所 湖西市勤労青少年ホーム・鷺津小学校
- (3) 学習目標 ひらがなと数字を読めるようにする。自分の名前をひらがなで書けるようにする。学校のルールを少しでも覚え、日本の学校にスムーズに入学できるようにする。
- (4) 使用した教材・リソース たべものやのりものなどの絵カード、ひらがなカード(公文) ひろこさんのたのしいにほんご(凡人社) はらぺこあおむし(こどものとも社) 日本語学級1(凡人社)

- (5) 受講者の募集方法 市の広報誌(日本語・ポルトガル語)
チラシを市内の幼稚園・保育園に配布する
湖西国際交流協会、静岡県国際交流協会関係者へちらしを
配布する。
チラシを市役所の通訳窓口置く
- (6) 受講者の総数 21 人
(出身・国籍別内訳 ブラジル 15人, ペルー 6人)
- (7) 開催時間数(回数) 39 時間 (全 18 回)

(8) 日本語教室の具体的内容

回	開催日時	時間数	参加人数	国籍・母語 (人)	教授者・補助者人数	内容
①	2月3日 18:00~20:00	2時間	18人	ブラジル・ポルトガル語 (12) ペルー・スペイン語 (6)	教授者1人 補助者4人	ひらがな学習 凡人社教材使用
②	2月7日 18:00~20:00	2時間	11人	ブラジル・ポルトガル語 (6) ペルー・スペイン語 (5)	教授者1人 補助者4人	"
③	2月10日 18:00~20:00	2時間	14人	ブラジル・ポルトガル語 (9) ペルー・スペイン語 (5)	教授者1人 補助者4人	"
④	2月14日 18:00~20:00	2時間	13人	ブラジル・ポルトガル語 (8) ペルー・スペイン語 (5)	教授者1人 補助者4人	"
⑤	2月16日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (8) ペルー・スペイン語 (4)	教授者1人 補助者4人	"
⑥	2月17日 18:00~20:00	2時間	19人	ブラジル・ポルトガル語 (13) ペルー・スペイン語 (6)	教授者1人 補助者4人	"
⑦	2月21日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (10) ペルー・スペイン語 (2)	教授者1人 補助者4人	"
⑧	2月24日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (8) ペルー・スペイン語 (4)	教授者1人 補助者4人	"
⑨	2月28日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (10) ペルー・スペイン語 (2)	教授者1人 補助者4人	"
⑩	3月2日 18:00~20:00	2時間	16人	ブラジル・ポルトガル語 (11) ペルー・スペイン語 (5)	教授者1人 補助者4人	"
⑪	3月6日 18:00~20:00	2時間	11人	ブラジル・ポルトガル語 (8) ペルー・スペイン語 (3)	教授者1人 補助者4人	"
⑫	3月9日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (10) ペルー・スペイン語 (2)	教授者1人 補助者4人	"
⑬	3月13日 18:00~20:00	2時間	11人	ブラジル・ポルトガル語 (8) ペルー・スペイン語 (3)	教授者1人 補助者4人	"
⑭	3月15日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (6) ペルー・スペイン語 (6)	教授者1人 補助者4人	"
⑮	3月16日 18:00~20:00	2時間	12人	ブラジル・ポルトガル語 (6) ペルー・スペイン語 (6)	教授者1人 補助者4人	"
⑯	3月21日 9:00~12:00	3時間	7人	ブラジル・ポルトガル語 (6) ペルー・スペイン語 (1)	教授者1人 補助者4人	"

⑰	3月22日 9:00~12:00	3時間	8人	ブラジル・ポルトガル語(6) ペルー・スペイン語(2)	教授者1人 補助者4人	〃
⑱	3月23日 9:00~12:00	3時間	7人	ブラジル・ポルトガル語(6) ペルー・スペイン語(1)	教授者1人 補助者4人	〃

(9) 特徴的な授業風景(2~3回分)

小学校の先生に授業をうけることで、小学校に入学するという意識を持たせる。名前をひらがなで書き名札を作る。小学校で使う「教室」「運動場」「保健室」などのことばを練習して、小学校に馴染めるようにする。最終日には給食の疑似体験をし、学校給食やマナーを少しでも理解させる。



4. 事業に対する評価について

(1) 当初の学習目標の達成状況

日本語がわからない未就園児、転入児童については、ひらがなや簡単なあいさつはいえるようになった。学校で使われることばの理解はできない。他は 50 音は読め、名前もかける。

(2) 学習者の習得状況

日本語の習得レベルに合わせて指導ができたので、子供達は楽しんで学習できた。学校の内容を親子で学び、親も子供も小学校での生活への不安が軽減されたようだ。

(3) 日本語教室設置運営の効果, 成果

未就園児と中途就学児には日本語の初期支援が必要である。その支援ができ、スムーズに小学校にいける橋渡しができた。親も日本の学校教育について学ぶことができ少しは理解されたと思われる。低学年の子供達にとっては教科の言葉を理解し、中学校・高校での授業についていける基礎作りとなる。

(4) 地域の関係者との連携による効果, 成果 等

子供達に関わる機関がいろいろな形で協力してくれることで親子共々、見守られているという安心感がでるのではないかと。より多くの人子供達とかかわり、子供達を地域で

育てていくことは大切なことだと思う。

(5) 改善点, 今後の課題について

- ① 現状（親が仕事が終わってから来ると、遅くなり、来るのが面倒になるようである。教育に対して親の価値観に差がある。）
- ② 今後の課題(子供のための日本語教育についてももう少し説明や指導をしたい。)
- ③ 今後の活動予定, 展望(子供達が小学校での宿題を親の代わりにみたり、わからないことばのフォローができるように毎週水曜日と金曜日ににほんごスクールを継続して行う。)

(10) 講座の評価

- ① 親子で講座を実施したことから、学校生活について理解し、学校生活への不安が解消した、子どもたちは小学校入学が楽しみになったとの声が多かった。
- ② 日本の幼稚園から進級する子どもたちにとっても、母国と日本の学校生活のギャップは大きく、様々な注意が必要だった。また、何回も注意をすることにより身に付くルールや習慣が多く、18回の実施回数は目標達成に向け、必要な回数だった。
また、日本の幼稚園に行かず、直接小学校へ入学する予定の子どもが1名参加していたが、日本語をはじめ、修了後も不安が残ってしまった。
プレスクールには、小学校を卒業した高校生の先輩が参加し、学校案内や学校生活の楽しさを話してくれたため、子どもたちにとって学校生活がより身近に感じられたようだ。
- ③ 当協会が主体となり、湖西国際交流協会、鷺津小学校との連携によって開催したこの講座は、来年度は、湖西市が引き継ぎ、実施予定である。この講座の重要性を理解し、今後も開催されることは大変心強い。

(11) 事業の成果

① 他事業との連携 ② 研修後の人材活用

湖西国際交流協会では、プレスクールに参加した子どもたちの継続支援として、放課後・夏休み支援活動を実施している。宿題や本の読み聞かせ、計算ドリルやカルタ、ゲームなどを行いながら、プレスクールで活躍したボランティアが、1年間様々な形で子どもたちを支えている。

1年間の継続的な支援活動によって、湖西市の外国籍児童・生徒は小学校に馴染んでおり、高校への進学率も大変高い。

(12) 今後の課題

今回も日本語0の子どもが1名参加したため、別メニューが多くなってしまった。日本の幼稚園に行っていた子どもと、行っていなかった子どもとも、レベルやマナーなどに差があり、大変だった。

また、18回のプレスクールの内容には限界があり、小学校の担任や外国人児童担当者との連携が必要だと感じた。